



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ダイオーズ

コード番号 4653 URL https://www.daiohs.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 真一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 稲垣 賢一 TEL 03-3438-5511

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,194	△41.9	△888	-	△911	-	△669	-
2020年3月期第1四半期	8,941	14.2	369	5.6	353	0.9	237	△0.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △737百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 33百万円 (△93.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△49.85	-
2020年3月期第1四半期	17.65	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	23,248	13,209	56.8	983.69
2020年3月期	23,168	14,216	61.4	1,058.65

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 13,209百万円 2020年3月期 14,216百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 3円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,489	△41.5	△1,963	-	△2,018	-	△2,021	-	△150.52
通期	25,232	△30.6	△2,322	-	△2,466	-	△2,610	-	△194.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	13,439,142株	2020年3月期	13,439,142株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	10,434株	2020年3月期	10,391株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	13,428,734株	2020年3月期1Q	13,428,751株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (a) 日本部門

当第1四半期、国内部門の株式会社ダイオーズ ジャパンにおいては、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令の影響を大きく受けました。政府によるテレワーク、在宅勤務の強い要請を受けた結果、特に東京都心5区(千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区)における当社顧客の多くのオフィスでは出勤人数が大幅に抑制されたことから、飲料関連商品での消費が落ち込み、その売上は対前期比で10期ぶりにマイナス成長となりました。一方、サブスクリプション型の契約である環境衛生関連商品では、除菌関連商品として扱う「ナノシード」、「クリンミスト」が大きく伸長し、また、定期清掃事業のDCA(ダイオーズカバーオール)も堅調に売上を伸ばしました。

利益面については、期初の計画段階では先行きが不透明な状況から、当第1四半期においては営業損失を見込んでおりました。しかし緊急事態宣言終了後の6月単月では飲料関連商品の売上も東京都心5区を除くエリアで軒並みに復調へと転じました。前年同月比では増収、増益の拠点多く、環境関連商品やDCA(ダイオーズカバーオール)の継続した好調も相まって、6月単月の営業利益は前年同月比で281.7%の増益、経営指標として掲げている売上高営業利益率も11.8%と、確実な復調傾向となりました。

以上のことから、当第1四半期は緊急事態宣言期間でのマイナス影響が甚大であったことから前年同四半期比で減収、減益となったものの、売上高は30億87百万円(前年同四半期比12.5%減、期初計画比110.2%)、営業利益は74百万円(前年同四半期比73.4%減、期初計画は1億53百万円の損失)と、期初計画を大きく上回る実績となりました。

#### (b) 米国部門

米国部門の連結子会社Daiohs U.S.A., Inc.においては、以下のような施策を実行しました。

新型コロナウイルスのパンデミックと、その対策として全米各地で取られたロックダウンの結果、オフィス出勤者数は激減し、当社の米国におけるオフィスコーヒーマシンのサービスは従来型およびプレミアム型の両方とも大きな影響を受けております。多くのオフィスが出勤する従業員数を大幅に削減もしくはオフィス全体を一時閉鎖するという措置を取ったことで、当社のサービス提供が困難になり、あるいは販売商品量が大きく減少しております。

そのような環境下、米国部門では環境の急変に対応するため、需要に応じて経費の削減、従業員の減少(一時帰休、解雇のいずれもを含む)という対応を行いました。また、当社グループが米国で続けてきた拠点増加や成長戦略は一時的にペンディングとし、M&Aは従前より決まっていたもの以外は中止、まずコロナ禍が過ぎ去るまでは資金流出を最小限に抑えるべく、キャッシュフロー重視の経営に路線を変更しております。

なお、ロックダウンそのものが一部解除された地区であっても、引き続き感染拡大防止の観点からオフィスが従前の状態に戻るにはほど遠い状況で、ワクチンの普及などコロナ禍が終息するまでは厳しい経営状況が続くと認識しております。

それらの施策を図った結果、当第1四半期の売上高は21億5百万円(前年同四半期比61.1%減、ドルベースでは前年同四半期比60.3%減)となりました。

また、利益面では、上記の経費節減努力を越える売上減少の影響が大きく、営業損失は9億38百万円(前年同四半期の営業利益は1億28百万円)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は51億94百万円(前年同四半期比41.9%減)、売上総利益は31億44百万円(前年同四半期比38.5%減)、営業損失は8億88百万円(前年同四半期の営業利益は3億69百万円)、経常損失は9億11百万円(前年同四半期の経常利益は3億53百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億69百万円(前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は2億37百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて79百万円増加の232億48百万円となりました。これは主に「売掛金」が9億57百万円、「工具、器具及び備品」が3億31百万円減少した一方で、「現金及び預金」が15億30百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて10億86百万円増加の100億38百万円となりました。これは主に「短期借入金」が19億47百万円減少した一方で、「長期借入金」が30億48百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて10億6百万円減少の132億9百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が9億38百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、2020年6月16日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,579,206	4,109,950
売掛金	3,367,070	2,409,931
リース投資資産	276,046	267,167
商品及び製品	1,951,069	1,841,323
仕掛品	4,446	4,024
原材料及び貯蔵品	207,201	203,856
その他	899,737	963,056
貸倒引当金	△25,856	△20,514
流動資産合計	9,258,922	9,778,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	873,532	926,388
機械装置及び運搬具(純額)	993,723	945,706
工具、器具及び備品(純額)	3,799,787	3,468,073
レンタル資産(純額)	1,854,988	1,929,768
リース資産(純額)	43,243	41,996
土地	974,963	974,841
建設仮勘定	242,203	197,479
有形固定資産合計	8,782,442	8,484,255
無形固定資産		
のれん	17,149	14,639
顧客関連資産	3,920,078	3,719,209
その他	174,668	175,690
無形固定資産合計	4,111,897	3,909,539
投資その他の資産		
投資有価証券	581,323	587,609
繰延税金資産	89,184	156,782
その他	364,313	351,008
投資損失引当金	△19,391	△19,391
投資その他の資産合計	1,015,430	1,076,009
固定資産合計	13,909,770	13,469,805
資産合計	23,168,692	23,248,600

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	612,984	424,296
短期借入金	3,101,346	1,153,870
1年内返済予定の長期借入金	816,043	1,621,702
未払法人税等	205,955	28,706
未払費用	573,995	540,032
賞与引当金	325,170	57,693
その他	837,822	868,466
流動負債合計	6,473,318	4,694,768
固定負債		
長期借入金	1,632,450	4,681,087
繰延税金負債	193,642	15,615
資産除去債務	37,609	37,932
その他	615,389	609,478
固定負債合計	2,479,091	5,344,114
負債合計	8,952,409	10,038,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,129,434	1,129,434
利益剰余金	11,913,139	10,974,893
自己株式	△12,444	△12,493
株主資本合計	14,081,264	13,142,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,351	4,153
為替換算調整勘定	131,667	62,593
その他の包括利益累計額合計	135,018	66,747
純資産合計	14,216,282	13,209,717
負債純資産合計	23,168,692	23,248,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,941,257	5,194,485
売上原価	3,825,617	2,049,977
売上総利益	5,115,639	3,144,507
販売費及び一般管理費	4,746,298	4,032,567
営業利益又は営業損失(△)	369,340	△888,060
営業外収益		
受取利息	189	144
受取配当金	599	493
仕入割引	4,066	868
持分法による投資利益	9,692	4,148
債務勘定整理益	6,133	4,691
その他	5,103	3,090
営業外収益合計	25,785	13,436
営業外費用		
支払利息	40,643	36,713
為替差損	80	63
その他	442	3
営業外費用合計	41,166	36,780
経常利益又は経常損失(△)	353,960	△911,404
特別利益		
固定資産売却益	770	2,757
特別利益合計	770	2,757
特別損失		
固定資産除却損	3,447	0
特別損失合計	3,447	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	351,282	△908,646
法人税、住民税及び事業税	35,801	5,013
法人税等調整額	78,439	△244,196
法人税等合計	114,241	△239,182
四半期純利益又は四半期純損失(△)	237,041	△669,463
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	237,041	△669,463



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	237,041	△669,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△684	802
為替換算調整勘定	△203,642	△69,825
持分法適用会社に対する持分相当額	310	752
その他の包括利益合計	△204,016	△68,270
四半期包括利益	33,024	△737,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,024	△737,734
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,523,942	5,415,568	8,939,510	1,746	8,941,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,370	—	3,370	△3,370	—
計	3,527,312	5,415,568	8,942,880	△1,623	8,941,257
セグメント利益	278,603	128,395	406,999	△37,658	369,340

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりであります。

売上高

(単位:千円)

非連結子会社からの利息収入等	1,746
連結消去	△3,370
合計	△1,623

セグメント利益

(単位:千円)

全社費用(注)	△133,008
連結消去	95,350
合計	△37,658

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の営業費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,086,772	2,105,605	5,192,377	2,107	5,194,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	231	—	231	△231	—
計	3,087,004	2,105,605	5,192,609	1,876	5,194,485
セグメント利益又は 損失(△)	74,095	△938,903	△864,808	△23,252	△888,060

(注)1 調整額の内容は以下のとおりであります。

売上高

(単位:千円)

非連結子会社からの利息収入等	2,107
連結消去	△231
合計	1,876

セグメント利益又は損失(△)

(単位:千円)

全社費用(注)	△116,910
連結消去	93,657
合計	△23,252

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の営業費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。